

6 給与所得の内訳

(日給などの給与所得のある方で、源泉徴収票のない方は記入してください。)

月	日	給 付 日 数	収入金額
1		円	円
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
賞与(ボーナス)等			円
合 計			円
勤務先所在地			
勤務先名称			
電話 番 号			
勤務した期間 月～ 月			
勤務先所在地			
勤務先名称			
電話 番 号			
勤務した期間 月～ 月			

7 前年中所得のなかった方又は他市町村に居住していた方の記入欄

(該当するものに○をして、必要事項を記入してください。)

1 下記の者に扶養されていた。 住所	5 生活保護法による生活扶助を受けていた。 年 月～ 年 月
2 学生で所得がなかった。 学校名	6 失業保険(雇用保険)を受けていた。 年 月～ 年 月
3 病気療養中 年 月～ 年 月	7 本年1月1日現在は他市町村に居住していた。 住所
4 (遺族・障害)年金で生活していた。 (円)	8 預貯金にて生活していた。
	9 その他(前年中どのように生計を立てていたかを記入してください。)

8 事業・不動産所得に関する事項

所得の種類	所得の生ずる場所	収入金額	必要経費	青色申告特別控除額
		円	円	円
		円	円	円

9 配当所得に関する事項

配当所得の種類	所得の生ずる場所	支払確定年月	収入金額	必要経費
		・	円	円
		・	円	円

10 雑所得(公的年金等以外)に関する事項

種 目	所得の生ずる場所	収入金額	必要経費
		円	円
		円	円

11 総合譲渡・一時所得の所得金額に関する事項

		A 収入金額	B 必要経費	C 差引金額(A-B)	D 特別控除額	E 所得金額(C-D)
総合譲渡	短期	円	円	円	円④	円
	長期	円	円	円	円⑤	円
一時		円	円	円	円⑥	円

右上の④の金額を表面のケに、⑤の金額を表面のコに、⑥の金額を表面のサに記入してください。
右の⑥の金額を表面の⑧の所得金額欄へ記入してください。

⑥ 合計 ④+[(⑤+⑥)×1/2]

12 事業専従者に関する事項

氏 名	続柄	生 年 月 日	従事月数	専従者給与(控除)額	個 人 番 号
	明・大昭・平	・	月	円	
	明・大昭・平	・	月	円	
青色申告特別控除額				円	専従者給与(控除)額の合計額

13 別居の扶養親族等に関する事項

(別居の控除対象配偶者・扶養親族・事業専従者について記入してください。)

氏 名	続柄	住 所

14 配当割額又は株式等譲渡所得割額の控除に関する事項

特定配当等に係る所得金額、特定株式等譲渡所得金額を総所得金額に含め、配当割額又は株式等譲渡所得割額の控除を受けようとする場合は、下の各欄に書き入れてください。

配当割額控除額	円
株式等譲渡所得割額控除額	円

15 事業税に関する事項

(この申告書を提出した方は、事業税の申告書を提出する必要がありません。)

非課税所得など	番号	所得金額	円
損益通算の特例適用前の不動産所得			
事業用資産の譲渡損失など	資産の種類	損失額、被災損失額(白)	円
前年中の開(廃)業	開始・廃止	月 日	
□ 他都道府県の事務所等			

代理申告者記入欄

(同世帯の親族の場合は、委任状を省略できます。)

氏名	続柄
住 所	
(同世帯の場合は記載不要)	

16 寄附金に関する事項

都道府県・市区町村分	寄附先	円
千葉県共同募金会・日本赤十字社千葉県支部		円
指 定 分 例	千葉県 寄附先	円
	千葉市 寄附先	円

17 家屋敷などに関する事項

(当区内に事務所、事業所又は家屋敷があり、当区内に住所がない方は、記入してください。)

物 件 所 在 地	種 類
	事務所・事業所・家屋敷
前年中の所得の金額(分離譲渡所得の場合は特別控除前の金額)	扶養親族数
円	人
あなたが該当するとき、○をつけてください。 障害者・未成年者・寡婦・寡夫	

・扶養親族等がいる場合には、表面「⑨扶養控除」欄にその内容を記入してください。

※ 源泉徴収票、控除証明書、本人確認書類などの必要書類は、この申告書には貼りつけずに提出してください。